2025年10月吉日

一般社団法人固体バイオ燃料標準化協議会(JBSA)

代表理事 岡本利彦

2025 年 10 月、東京で ISO/TC238 国際会議を開催 — 固体バイオ燃料の国際標準化に向けて世界が集結—

2025年10月26日(日)から31日(金)まで、東京都千代田区の九段会館テラスにて、国際標準化機構(ISO)の技術委員会「ISO/TC238 Solid Biofuels and Pyrogenic Biocarbon(固体バイオ 燃料及び熱生成バイオカーボン)」の国際会議が開催されます。

ISO/TC238 は、固体バイオ燃料および熱化学変換由来のバイオカーボンに関する用語、仕様及び分類、サンプリング及び試料調製、試験方法、並びに安全性の標準化を目的とした技術委員会で、現在 56 カ国が参加しています。本会議には、欧州、北米、アジア、アフリカなど 15 カ国以上から専門家・代表団が来日し、持続可能な社会の実現に向けて、生物資源を活用したバイオ燃料およびバイオカーボンの品質、安全性、試験方法などの標準化に関する議論が行われます。

今回で第15回目となる本会議は、日本で初めての開催となり、アジアではマレーシア、韓国に続いて3回目の開催となります。日本での開催は、国内の関連産業や研究機関にとって国際的な連携を深める絶好の機会であり、脱炭素社会の実現に向けた日本の標準化戦略を世界に発信する重要な場となります。

本会議の運営は、ISO/TC238 国内審議団体である当協議会が務め、会期中には分科会、全体会議、ネットワーキングイベントも予定されています。

開催概要 ※詳細は別紙をご覧ください

名称:ISO/TC238 国際会議

TC238 構成国:56 カ国(参加メンバー28 カ国、オブザーバー28 カ国)

日程:2025年10月26日(日)~31日(金)

分科会:10月27日~10月30日、年次総会:10月31日(金) 9:00~

会場:九段会館テラス(東京都千代田区九段南1丁目6-5)

参加国:15 カ国以上から50名程度の出席を予定

報道関係者向け取材案内

報道機関の皆様には、10月31日(金)の年次総会の開会時に取材・撮影・インタビューの機会をご提供いたします。取材をご希望の方は、10月17日(金)までに以下連絡先までご登録ください。なお同時通訳は準備しておりませんのでご承知おき願います。

お問い合わせ先

一般社団法人 固体バイオ燃料標準化協議会 (JBSA)

〒110-0016 東京都台東区台東 3-12-5 クラシックビル 6F 604 号室

Web: https://jbfsa.org Email: main@jbfsa.org 担当:河本 直毅

【別紙】

ISO/TC238 (Solid Biofuels and Pyrogenic Biocarbon) 国際会議 開催概要

(1) 主な日程、場所

日にち 2025年10月26日(日)~10月31日(金)

場所 九段会館テラス(東京都千代田区九段南1丁目6-5)

対面及び Web のハイブリッド形式で開催

会議

10月26日(日) 座長 (CAG) 会議 (2F柳)

10月27日(月)~30日(木)

分科会 (ワーキンググループ (WG)、テクニカルグループ (TG)) (2F杏)

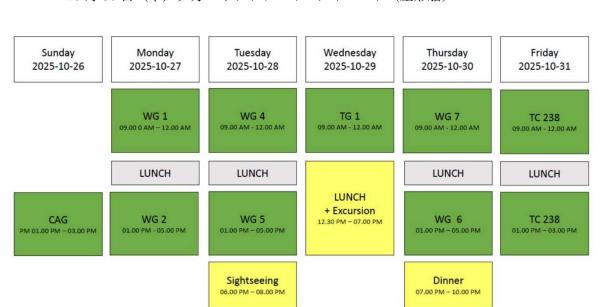
10月31日(金)年次総会(3F鳳凰)

各種行事

10月28日(火)夕方 文化ツアー(バスで都心視察)

10月29日(水)午後 現地見学会(千葉県 袖ケ浦バイオマス発電所、出光興産石炭・環境研究所)

10月30日(木) 夕方 ネットワーキングイベント(屋形船)



WG1:用語 WG2:燃料の特性及び分類 WG4:物理及び機械的試験方法 WG5:化学的試験方法 WG6:サンプリング及び試料調製 WG7:安全性 TG1:バイオカーボン CAG:座長・アドバイザグループ

(2) TC238 年次会議での日本からの主なテーマの発信(予定):

① TG1:日本における BIOCOAL 等の普及の現状と ISO/TC238 への提言

② WG2:スギ、ヒノキなど日本特有な樹種への品質基準への反映

③ WG7:日本各地でのバイオマス発電所での火災の原因と対応

(3) 参加費 無料